

農 研 速 報

平成 23 年 1 月 12 日発行
茨城県農業総合センター農業研究所
〒311-4203 茨城県水戸市上国井町 3402
TEL029-239-7211 FAX 029-239-7306

生育状況（成熟期、水戸市）

県 名	収 穫 期		生 育 の 状 況	問 題 点	備 考
	本 年	平年対比			
茨城県 (水戸市)	ベニアズマ 10/18収穫	平年並み	<p>かんしょ生育期間（5月21日～10月18日）の気象は、平均気温が平年（直近5ヶ年）より1.5℃高く、日照時間が平年比128%、降水量が101%であった。本年は夏期が高温・乾燥で推移し、梅雨明け後2ヶ月間（7月18日～9月17日）の平均気温が平年より2.6℃高く、日照時間が平年比148%、降水量が49%であった（水戸地方気象台観測値）。</p> <p>掘り取りは、平年並みの挿苗後150日に行った。 つる重は、ベニアズマが平年より重く、タマユタカが平年並みだった。 地下部の生育は、ベニアズマで1株当たり塊根数が少なく塊根1個重が重かったが、タマユタカでは1株当たり塊根数が多く塊根1個重が軽くなった。上いも重は、ベニアズマが平年並み、タマユタカが平年よりやや重かった。 サイズ別収量もベニアズマとタマユタカで異なり、ベニアズマで2L以上の重いサイズが平年を上回り、タマユタカではS以下の軽いサイズが平年を上回った。 澱粉含量は、両品種とも平年に比べ1割程度高かった。 ベニアズマで条溝の発生が平年より大幅に増加したが、他の障害発生率が低く、A品率は平年より高かった。タマユタカでは条溝及び尻こけの発生率が平年より高く、A品率は平年よりやや低かった。</p>	商品価値の高いM+Lサイズの収量が減少した。	
	タマユタカ 10/18収穫	平年並み			

表1 収量調査(挿苗後150日、10月18日掘り取り)

品種名	つる重			総いも重			上いも重			1株当たり塊根数(上いも)			塊根1個重(上いも)			澱粉含量		
	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (個)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (%)	前年比 (%)	平年比 (%)
ベニアズマ	255.2	132 (192.8)	130 (196.1)	324.2	88 (366.7)	95 (340.2)	320.0	88 (362.6)	96 (334.6)	2.8	85 (3.3)	86 (3.2)	291.7	105 (278.7)	110 (264.1)	25.4	110 (23.1)	111 (22.9)
タマユタカ	203.7	112 (182.1)	95 (215.0)	361.0	105 (344.8)	109 (329.9)	346.0	102 (339.6)	107 (322.8)	4.7	152 (3.1)	138 (3.4)	184.7	67 (275.9)	77 (240.5)	20.7	99 (21.0)	108 (19.2)

注1 5月21日挿苗。ベニアズマは黒マルチ栽培、タマユタカは無マルチ栽培。

注2 施肥量(kg/a):窒素0.1、リン酸1.2、カリ1.0。a当たり栽植本数は400株。

注3 ()内は前年または平年値。平年値は平成17年～21年の5か年の平均値。総いも重は直径3mm以上のいも、上いも重は50g以上のいもの重量。

表2 サイズ別収量、品質区分および障害いもの発生率

品種名	サイズ別収量			品質区分				障害いもの発生率					
	S以下 (kg/a)	M+L (kg/a)	2L以上 (kg/a)	A品率 (%)	丸品率 (%)	B品率 (%)	C品率 (%)	裂開 (%)	皮脈 (%)	条溝 (%)	曲がり (%)	くびれ (%)	尻こけ (%)
ベニアズマ	58.5	178.6	87.1	70.8	1.9	18.2	9.0	1.9	0.0	5.6	12.5	16.1	1.7
平年比(%)	78	86	148	139	81	65	51	98	0	1671	74	52	86
タムユタカ	162.3	174.8	23.9	24.5	48.7	21.4	5.3	0.0	0.0	3.3	5.4	8.5	11.7
平年比(%)	188	93	43	93	102	233	32	0	-	162	63	88	470

注4 塊根1個重により S以下:200g未満、M+L:200g以上500g未満、2L以上:500g以上 で区分した時の収量

注5 品質区分・障害いもの判定は茨城県青果物標準出荷規格による。いも個数%

注6 平年比の「-」は平年値が「0%」であることを意味する

農研所内圃場における生育状況(10月18日撮影)

挿苗日: 5月21日 栽植密度: 400株/a 畦間 100cm 株間 25cm 施肥量(kg/a): $N:P_2O_5:K_2O=0.1:1.2:1.0$



ベニアズマ



タマユタカ